

浦安鐵鋼団地景況実感調査結果表
(平成21年12月分)

ご協力ありがとうございました。平成21年12月分の結果をお送りいたします。よろしくご査収ください。

調査対象 169社 回答 154社 回答率 91.1%

調査項目	前 月 比					計	前 年 同 月 比					計
	10%以上 増加・上 昇・好況	やや 増加・上 昇・好況	横這い ・平常	やや 減少・下 降・不況	10%以上 減少・下 降・不況		10%以上 増加・上 昇・好況	やや 増加・上 昇・好況	横這い ・平常	やや 減少・下 降・不況	10%以上 減少・下 降・不況	
売上数量	11社 7.2% (8.8)	14社 9.2% (12.6)	58社 38.2% (35.2)	45社 29.6% (25.8)	24社 15.8% (17.6)	152社	15社 10.1% (7.2)	8社 5.4% (5.9)	18社 12.2% (14.5)	36社 24.3% (17.8)	71社 48.0% (54.6)	148社
売上高	9社 5.9% (7.5)	15社 9.8% (11.9)	56社 36.6% (35.0)	48社 31.4% (27.5)	25社 16.3% (18.1)	153社	8社 5.4% (4.5)	6社 4.1% (2.6)	17社 11.5% (11.7)	30社 20.3% (17.5)	87社 58.8% (63.6)	148社
在庫数量	2社 1.4% (3.3)	17社 11.7% (9.2)	63社 43.4% (45.1)	53社 36.6% (34.6)	10社 6.9% (7.8)	145社	4社 2.8% (2.1)	5社 3.5% (8.2)	23社 16.3% (24.7)	33社 23.4% (11.6)	76社 53.9% (53.4)	141社
販売単価	1社 0.7% (0.0)	4社 2.7% (5.8)	77社 52.4% (49.7)	56社 38.1% (40.0)	9社 6.1% (4.5)	147社	3社 2.1% (2.7)	7社 4.9% (2.7)	21社 14.7% (14.1)	19社 13.3% (18.1)	93社 65.0% (62.4)	143社
収益状況 (粗利)	4社 2.6% (4.5)	13社 8.6% (9.6)	54社 35.8% (30.8)	54社 35.8% (35.3)	26社 17.2% (19.9)	151社	10社 6.8% (4.0)	13社 8.8% (4.7)	13社 8.8% (14.0)	27社 18.2% (16.7)	85社 57.4% (60.7)	148社
稼働率 (生産・加工設備)	2社 1.7% (4.8)	9社 7.4% (12.0)	50社 41.3% (42.4)	47社 38.8% (28.8)	13社 10.7% (12.0)	121社	4社 3.4% (2.5)	11社 9.5% (10.2)	17社 14.7% (16.9)	32社 27.6% (13.6)	52社 44.8% (56.8)	116社
入出庫の トラック台数	2社 1.4% (2.7)	6社 4.2% (8.0)	67社 46.5% (44.7)	53社 36.8% (33.3)	16社 11.1% (11.3)	144社	2社 1.4% (2.8)	13社 9.3% (4.2)	26社 18.6% (22.5)	42社 30.0% (20.4)	57社 40.7% (50.0)	140社
現在の景況感	1社 0.7% (0.0)	0社 0.0% (1.9)	26社 17.2% (13.9)	35社 23.2% (25.3)	89社 58.9% (58.9)	151社	0社 0.0% (0.0)	8社 5.6% (2.1)	15社 10.6% (10.3)	26社 18.3% (15.1)	93社 65.5% (72.6)	142社
3ヶ月後の 景況予測	2社 1.3% (0.7)	0社 0.0% (0.7)	17社 11.3% (10.5)	41社 27.3% (22.2)	90社 60.0% (66.0)	150社						
特記事項	今月も各品種の〔特記事項〕が数多く寄せられましたので、別送にてお知らせいたします											

注 ①調査対象会社数は浦安に事業所の無い会社（不在地主など）は除外してあります

②()内の数字は前月のパーセントです

③結果表は全品種の動向として集計し、品種別の要因を取り上げる必要がある場合は
特記事項欄に別途記載いたします

④本調査の宛先等の変更は、浦安鐵鋼団地協同組合事務局までご連絡ください

事務局 TEL : 047-350-5311 FAX : 047-350-5316

景況実感調査(12月) 特記事項

毎月、景況実感調査にご協力頂きましてありがとうございます。集計結果は別紙にてお送りしましたが、今月もたくさんコメントを頂きましたのでお送りします。ご査収下さい。

[お断り]毎月のコメントはあくまで個々の“生の声”です。業界全体の標準的見解とは、若干異なる場合もあります。また、不適切な表現やわかりにくい表現については書き直しております。信用問題にかかわるものも原則として掲載しておりません。

薄板・表面処理鋼板

- ① 昨年は1月から加工が減少の一途であったが、今年は更に厳しいとの予想が多く、不安である。
- ② 悲喜こもごもの中、市中販売量の長期低落傾向は止められない。四半期計画では、今が一番良く、徐々に悪化すると思われる。
- ③ 国内空洞化が増す。販売競争の激化大。
- ④ 需給バランスや紐付価格に関係なく、原料高による高炉メーカーの値上げは避けられそうにない。値引きをしている場合ではないと感じる。
- ⑤ 少しだが仕事量が増えている。ただし、短納期、小ロット、多品種の傾向が強まり、得意先も同様の受注傾向にあるらしく、市中在庫も必要最小限で回っている感じがする。海外(アジア)情勢から、メーカーは価格、量に関しても強めのポジションを保っており、国内の需給からはギャップを感じるも、4月頃迄は薄板の値崩れはなさそうだ。
- ⑥ 在庫減少傾向が続いており、需給バランスが維持されている。市況も荷動きの弱い中でも横這いで推移しており、在庫が現状推移であれば弱気懸念はない。大口引合いには対応できない状況にある。
- ⑦ 販売量、売上とも前月比10%強マイナス。販売量減少に伴い、収益も10%強マイナス。
- ⑧ 一部リピート性製品で受注量増加幅が多いものも出始め、在庫圧縮の影響による生産量増加への対応措置が必要になってきた。最悪期は脱しつつあるが、建築関連の需要回復の足取りが鈍く、本格回復にはもう少し時間が必要と見ている。
- ⑨ スクラップ価格もここにきて横這い商状。また、発生品(オーバーロール)および処分品についても薄商いが続いている。1~3月も好要因はなく、残念ながら期待薄。来年は良い年になってもらいたいものだ。

中板

- ① 12月の販売量は前月比横這いにて推移。需要の停滞感が強く、市況は弱基調で終わる。現下の市況では採算確保が厳しく、出口が見えない中、当面苦戦を強いられると思われる。建設需要は頭打ちで、今後とも期待できないが、年明け、在庫調整が見えてきており、また原料高による国内高炉の値上げも予測される中、先々は変化が出てくると思われ、需要は低迷するも、市況上向きに期待していきたい。

厚板

- ① 前月比では若干増加し、売上、粗利とも改善したものの、低水準の基調は変わらず厳しい状況である。年明け以降、昨秋、集中的に入札が実施された橋梁の切板が本格的に発注される予定ではあるが、各F A Bの受注量にバラツキがあり、先行きの山積みが読みにくい状況にある。鉄骨は一時延期となっていた再開発絡みの大型鉄骨が順次切板に結びついてきており、切板としての数量はそれほど多くは期待できないが、今後の増加要因となる。厚板全般としては、建設を中心とした内需が引き続き低調で、輸出、エネルギー関連頼みであり、価格的には内需の低迷により市況を押し上げる要素は見当たらない。

— 舟安开形鋼

- ① 昨年末までの数ヶ月間は、数量、売上ともに低位ながら安定してきていると思う。しかしながら、相場はこの数ヶ月でUP & DOWNを繰り返し、安定せず、すでにメーカー販価を割り込んでいる。このような状況が継続した場合、流通の多くは疲弊し、ますます混迷の度を深めることになる。一刻も早く新政府に鉄鋼需要に繋がる政策を発表してもらいたい。安定的な需要創出をお願いしたいものだ。今年こそ安定相場を望む。
- ② 需要減による生産調整か、本年は事実上25日で終わったようだ。したがって、前月と変わらない営業日数なるも、諸項目は前月比やや減少となった。「坂の上の雲」を突き抜けて、一年後に生き延びるには相当な試練を覚悟せねばならないが、何としても具現したい。

構造用鋼

- ① 店売りについては、前月より多少増えたが、10月以降横這いで推移。基調は変わらず弱含みである。紐付は自動車向けが一部回復しているが、産機、建機関連は回復にはまだ時間を要す。

その他

< 金属表面処理加工 >

- ① 12月は紐付、物件物とも計画通り。中旬以降はスポットの引合い、成約とも活発な動きとなり、年明け以降も高操業で推移しそうである。来年も電力物件を中心として大口物件が控えており、年明け以降も安定した操業ができそうである。